

ふじ市議会だより

第197号 令和5年12月1日

令和4年度
各会計決算を認定



第18回富士山百景写真コンテスト「燃ゆる紅葉」若月茂央さん撮影（エリア：岩本山公園）
富士山写真部門入選作品

特集

議会による事業評価を実施
今後の取組方と翌年度予算への提言をまとめる …… 2



SDGs 未来都市 富士市

議会による事業評価を実施

今後の取組方 及び 翌年度予算への提言をまとめる

富士市議会では議会基本条例に基づく独自の取組として、9月定例会決算審査に合わせて前年度執行の事業の評価を行っています。今回は、全事業の中から5事業を選定し、評価においては、活発に意見交換がなされ、議論は大変白熱したものとなりました。

評価結果は、10月11日に市長に提出しました。



- 評価**
- A：十分評価できる
 - B：やや評価できる
 - C：あまり評価できない
 - D：全く評価できない
- 今後の方向性**
- 1：拡充する
 - 2：継続する
 - 3：改善し継続
 - 4：大幅な見直し
 - 5：縮小・廃止を検討

評価対象事業・内容	評価に至った理由	今後の取組方・翌年度予算への提言
林業振興事業費 (富士ヒノキ製ベンチPR事業) 富士ヒノキのブランド製品「フジヒノキメイド」の知名度向上を図り、販路拡大につなげる。 森林経営管理事業費 森林環境譲与税を活用し、森林の適切な整備につながる取組を進める。	B	3 令和6年度から森林環境税の賦課徴収が開始されることから、林業の人材育成・担い手確保、普及啓発、木材利用の促進に資する事業をより一層強化することを求める。また、富士ヒノキ製ベンチPR事業は見直しを求めるとともに、東京23区の森林環境譲与税を活用し、市有林内へ区民の森を誘致する活動は、早期の実現を求める。
ものづくり人材育成事業費 (発明くふう展) ものづくりの大切さや創造する楽しさと科学する心を培うため、市内の産官学金の連携による富士市発明くふう展を実施し、産業振興の一助とする。	B	3 教員の負担に配慮するとともに、子供たちが出品しやすい環境を整えるほか、本市が進めるSTEAM教育に資するプログラミングやデジタルアート等、今の時代に求められるものづくり人材の育成に向け、多くの人が楽しんで出品できるような事業とすることを求める。
生け垣作り助成費 住宅敷地等に新たに生け垣を設置する経費の一部を助成し、緑による潤いのある都市景観の形成、災害防止や避難路の確保などを推進する。	C	3 緑豊かで住みよく安全な都市環境及び景観づくりを推進するため、利用者アンケート結果も参考にしながら、現行の補助要件の緩和の検討を求める。また、庭木のある庭園の整備や壁面緑化への補助制度を検討するなど、生け垣だけでなく、市民ニーズに合った新たな事業展開を求める。
水道料金賦課・収納事業 水道事業の収益の根幹を成す水道料金について、正確に使用水量を把握し、適正な調定・収納等を行う。	B	3 次期契約に向けては、プロポーザルに複数者が参入しやすい環境整備を求める。未納者への対応については収納課と協議し、有効な手法の検討を求める。水道メーターは、業務の効率化や高齢単身世帯への見守り効果といったメリットと費用対効果を勘案し、スマートメーター導入の検討を求める。
中央病院人材活用事業 優秀な人材を確保するとともに、適正な人員配置と技術向上への支援を行い、地域の基幹病院として、質の高い医療サービスの提供に努める。	B	1 医師の確保に当たり、人材育成センターを最大限活用し、タスクシフトに対応する人員確保や資格取得の支援を求める。また、臨床研修医の育成・指導を担う指導医の確保・育成を求める。働き続けることのできる環境の整備を進め、中央病院で働く魅力をSNS等で発信することを求める。

9月定例会

会期内容

- 9月11日 本会議 (開会)
 - ◇特別委員会の中間報告・質疑
 - ◇議案1件 (報告案) 説明・質疑・討論・採決
 - ◇議案2件 (契約案) 説明・質疑・討論・採決
 - ◇議案19件 (決算認定・単行案) 説明・質疑・委員会付託
 - ◇発議議案1件説明・採決
- 14日・15日、19日 委員会
 - ◇一般・特別会計決算委員会
- 20日 委員会
 - ◇議会運営委員会
- 21日・22日 委員会
 - ◇企業会計決算委員会
- 26日 本会議
 - ◇議案19件 (決算認定・単行案) 委員長報告・質疑・討論・採決
 - ◇議案11件 (補正予算案・条例案) 説明・質疑・委員会付託
- 28日 委員会
 - ◇総務市民委員会
 - ◇産業教育委員会
- 29日 委員会
 - ◇福祉保健委員会
 - ◇建設消防委員会
- 10月3日 委員会
 - ◇議会運営委員会
- 4日 本会議
 - ◇所管事務調査の中間報告・質疑
 - ◇議案11件 (補正予算案・条例案) 委員長報告・質疑・討論・採決
 - ◇一般質問
- 5日・6日、10日 本会議
 - ◇一般質問
- 11日 本会議 (閉会)
 - ◇一般質問

令和4年度 各会計決算を認定

【一般会計歳入歳出決算】

歳入 992億9508万 982円
 歳出 948億3319万 3134円

【企業会計】

水道事業 事業収益 39億1754万6961円
 事業費用 33億8554万 708円

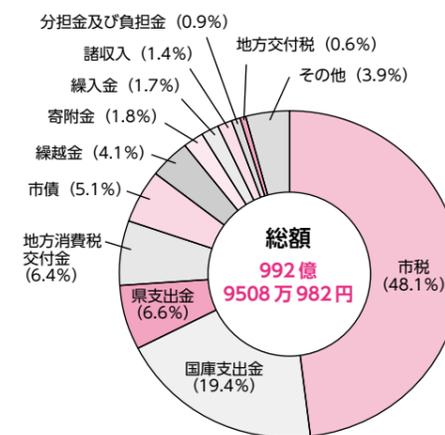
公共下水道事業 事業収益 61億2753万2865円
 事業費用 50億3416万5418円

病院事業 事業収益 182億4712万1158円
 事業費用 153億 42万7638円

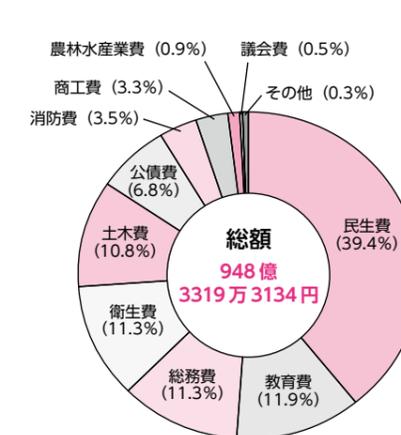
【特別会計】

歳入 538億1871万8223円
 歳出 530億7320万3581円

一般会計・歳入款別内訳



一般会計・歳出款別内訳



議案の審議結果

※太字は委員会付託議案です。

■全会一致で可決、承認、同意した議案

報告	専決処分の報告
	富士市一般会計補正予算（第4号）
決算	令和4年度 決算認定
	富士市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市介護保険事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市新富士駅南地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市第二東名IC周辺地区土地区画整理事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市富士山フロント工業団地第2期整備事業特別会計歳入歳出決算認定
	富士市森林財産特別会計歳入歳出決算認定
	富士市鈴川財産区特別会計歳入歳出決算認定
	富士市今井財産区特別会計歳入歳出決算認定
	富士市大野新田財産区特別会計歳入歳出決算認定
	富士市檜新田財産区特別会計歳入歳出決算認定
	富士市田中新田財産区特別会計歳入歳出決算認定
	富士市水道事業会計決算認定
	富士市公共下水道事業会計決算認定
	富士市病院事業会計決算認定
条例	条例の制定
	富士市企業版ふるさと納税基金条例
条例	条例の改正
	富士市印鑑条例及び富士市手数料条例
	富士市病院事業使用料及び手数料条例
	富士市火災予防条例
条例	条例の廃止
	富士市勤労者総合福祉センター条例

予算	令和5年度 補正予算
	富士市一般会計補正予算（第5号）
	富士市国民健康保険事業特別会計補正予算（第1号）
	富士市後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）
	富士市介護保険事業特別会計補正予算（第1号）
	富士市公共下水道事業会計補正予算（第1号）
	富士市病院事業会計補正予算（第1号）

契約	契約の締結
	富士総合運動公園野球場スコアボード等改修事業
	富士市立高等学校E S C O事業業務委託

その他	剰余金処分
	令和4年度富士市水道事業会計剰余金処分
	令和4年度富士市公共下水道事業会計剰余金処分

発議	規則の改正
	富士市議会会議規則

■賛成多数により認定した議案

決算	令和4年度 決算認定
	富士市一般会計歳入歳出決算認定（賛成30、反対1）

委員会の映像配信を始めました

9月定例会よりインターネットを利用して委員会などの会議の様子を配信しています（ライブ配信終了後には録画映像を視聴いただけます）。市議会ウェブサイトからアクセスいただけます。



一般・特別会計決算委員会

決算認定 14 件

一般会計

歳入	992億9508万982円
歳出	948億3319万3134円

◆富士山を背景にF1マシンと新幹線が並走する動画「BAKUSOU」を、地域と協力して撮影し配信したが、市公式YouTubeでは10万回近く、また、主催者のウェブサイトでは100万回以上再生され、反響も非常に大きいとのことである。本市の魅力を世界中に発信できる動画であることから、今後もさらなる有効活用を図るとともに、事業を地域と一緒に進めることはシビックプライドの醸成にも寄与すると考えるので、このようなシティプロモーション事業を今後も続けてほしい。



▲富士山と、新幹線とF1マシン

◆私的二次救急医療機関が救急患者を受け入れた場合、1人につき1万3000円を助成しており、聖隷富士病院で468件、川村病院で214件の患者受入れに対し、計886万円余の補助金を交付したとのことである。しかしながら、聖隷富士病院が今年度から二次救急の受入れを辞退したことにより、新たな受入先を市内の医療機関と調整しているが、現在めどが立っていないようである。このことで、富士保健医療圏が県内ワーストワンとなっている630問題については、さらに悪化したと感じる。この630問題を改善するためには、これまで以上の補助金を交付するなど、富士保健医療圏における救急患者の受入れ体制を強化する具体的な方策を検討してほしい。

【委員長】鈴木幸司 【副委員長】笠井 浩
 【委員】稲葉寿利、石川浩司、井出晴美、萩野基行、荻田丈仁、藤田哲哉、佐野智昭、福永意人、杉山 諭、佐藤菊乃、笹川朝子、新家大輔、望月 徹

◆紙のアートミュージアムは、運営管理に1448万円余もの経費をかけていながら、年間の来場者数が8392人と、にぎわいのある施設とは程遠い状況にある。紙のまち富士市を発信する施設として、企画展やワークショップ等を開催し、紙を使った芸術の分野では評価は高いようだが、入場料が無料の施設にもかかわらずこの来場者数は看過できるものではないので、来場者アンケートを実施するなどし、多くの市民が楽しめる施設となるよう運営方法を見直してほしい。



▲紙のアートミュージアム（企画展）

◆コロナ禍の厳しい状況においても、地区の負担を軽減する特例措置により自主運行バス等の運行を継続しているが、採算面では厳しい状況で、既存の公共交通への影響を考慮しなければならないこと、デマンドタクシーにおいては県からの補助金の要件を満たすことができない路線があることなど多くの課題があるようである。市民の生活にとって自主運行バス等は必要なものであるため、地域との協議調整を図りながら、これまでどおり運行が継続できるようにしてほしい。

◆田子浦小学校と田子浦中学校において、一人一人の「居場所づくり」「絆づくり」を合言葉に、魅力ある学校づくり調査研究事業を実施したことにより、田子浦中学校では不登校の生徒数が大幅に減少したことに加え、学校生活における生徒の満足度も非常に高まったとのことである。この事業を多くの学校が魅力的に感じているため、この学校だけにとどめるのではなく、市全体に広めてほしい。

◆小学校施設整備費及び中学校施設整備費では、経過年数や耐力度調査の結果などを基に、10年以内に改修する学校名や事業費などを示した学校施設の長寿命化計画を令和3年3月に策定し、おおむね計画どおり進めているものの、改修に当たっては実際の劣化状況等から順番を入れ替えて実施するなど、臨機応変に対応しているとのことである。長寿命化計画の目的である財政負担の軽減と平準化が達成されるよう計画に基づき確実に改修を実施してほしい。

◆将来負担比率では、前年度より4.5ポイント改善し69.5%となり、国が示した早期健全化基準の350%を大きく下回り健全な財政状況とのことである。令和3年度決算における本市の状況は、全国平均は15.4%で1741自治体中1547位、県内平均は7.5%で23市中最下位と、他市と比較すると本市の数値は悪いと思われる。今後も大規模な投資的事業が控えていることから、健全な財政運営に努めるとともに、投資すべき事業はしっかり投資してほしい。

特別会計

歳入 538億1871万8223円
歳出 530億7320万3581円

【国民健康保険事業】

◆国民健康保険税の収入未済額は現年度分、過年度分を合わせて7億6900万円余とのことである。滞納者に交付する短期保険証は879世帯に発行し、保険証の代わりとなる資格証明書は8世帯に発行したとのことだが、資格証明書は医療費を一旦、全額自己負担で支払う必要があるため、証明書を交付された世帯は病院に行くことをためらい、さらに病状を悪化させるおそれがあるので、該当世帯に対しては十分な配慮をしてほしい。

【新富士駅南地区土地区画整理事業】

◆事業の進捗率は事業費ベースで74.1%、面積ベースで83.6%だが、昨今の物価高騰により事業費も影響を受けているとのことである。本事業に寄せる市民の期待は大きいことから、物価高騰分についても国の補助金を確保し、完成予定の令和11年度に向けて確実に事業を進めてほしい。

反対討論

住民税非課税世帯等に対しては、臨時特別給付金や子育て世帯生活支援特別給付金などの支給があった一方、生活に困窮しているものの対象とならない世帯も多い。市税は3億3500万円余の増収とのことだが、給与所得の増加は一部のみであり、厳しい暮らしを強いられている市民が圧倒的に多いと考える。市街地再開発事業促進費では、富士駅北口第一地区市街地再開発準備組合に対し、事業補助金として1億9480万円を交付し、測量や土地鑑定評価、資金計画等に活用した。しかしながら、近隣住民の理解は進んでおらず補償や権利変換には課題が残り、にぎわいの創出を目指しているものの盛り上がりには欠けていると感じるため、十分な意見交換など市民の声を聞く取組が求められる。

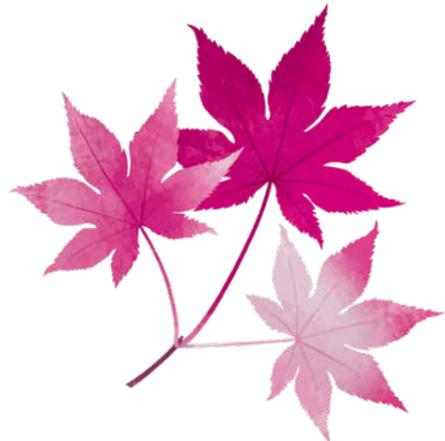
以上のことから反対である。

以上の要望、討論の後、一般会計歳入歳出決算が認定されました。

【駐車場事業】

◆駐車場運営事業費では、令和3年度決算議会事業評価で、C判定の「あまり評価できない」とし、今後の方向性としては大幅な見直しを求めた。今年度、市営駐車場の在り方について再検討するための調査を実施しているとのことだが、議会としても注視している事業であるため、しっかりと見直しを行い報告してほしい。

以上の要望の後、全会一致で各特別会計歳入歳出決算が認定されました。



企業会計決算委員会

決算認定3件、その他2件

【委員長】下田良秀 【副委員長】山下いづみ
【委員】川窪吉男、高橋正典、太田康彦、遠藤盛正、伊東美加、小野泰正、市川真未、長谷川祐司、小池義治、関明美、一条義浩、吉川隆之、植松光徳

水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	39億1754万6961円	33億8554万708円
資本的収入及び支出	16億7419万4996円	31億4767万3095円

◆有収水量の減少に伴い給水収益が減少する中、想定を上回る電気料金高騰により動力費が1億6771万円余増加している。こうした状況では、10月から予定されている水道料金の値上げの効果が相殺されてしまうが、安全でおいしい水の供給のためには欠かせない老朽管路の更新や耐震化の推進にも影響してくると考えるので、4年ごとに行う料金改定検討の際には、市民の理解を得ながら、必要な事業が実施できる水準の料金設定を目指してほしい。

◆富士中央配水池は富士川と潤井川の浸水想定区域に含まれているため、想定浸水深がより深い富士川の氾濫に備え、建物の高い位置に開口部を設置するなどの対策を講じているとのことである。市ウェブサイトには水道事業における災害対策や配水池の耐震化に関する情報が少なく、災害時の給水環境に不安を感じている市民もいると考えるため、情報発信の強化に取り組んでほしい。

以上の要望の後、全会一致で認定されました。

公共下水道事業会計

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	61億2753万2865円	50億3416万5418円
資本的収入及び支出	17億5446万3880円	43億7146万6404円

◆消化ガス発電事業において、市内の食品加工会社から地域バイオマスとして回収した食品残渣や、B-DASHプロジェクトにより生成した水素を浄化槽に投入することで、消化ガスを増加させる取組について研究しているとのことである。このようなグ

リーントランスフォーメーションを推進する取組は、ゼロカーボンシティの実現に向けて重要と考えるため、実用化を目指し今後も継続してほしい。

以上の要望の後、全会一致で認定されました。

病院事業会計

区分	収入	支出
収益的収入及び支出	182億4712万1158円	153億42万7638円
資本的収入及び支出	4億2628万9500円	8億5287万1810円

◆医師の業務の一部を看護師が特定行為として行うことができる特定看護師は、昨年度3名の看護師が養成研修を受講したことで現在6名おり、また、特定の看護分野において高い看護技術を有する認定看護師は16名在籍しているとのことである。これらの専門資格を持つ看護師を積極的に活用することで、タスクシフトを進め、医師の業務負担軽減につながり、また、看護ケアの広がりや質の向上にもつながっていると考える。しかしながら、どのように業務配分を行うかなど具体的な運用については、今後、話し合いを行う予定とのことなので、早急に効果的な活用方法を構築してほしい。

◆本市の救急医療において、循環器内科と心臓血管外科は協力し、24時間365日体制で取り組んでいるが、循環器内科の入院患者数は前年度に比べて863人減少し、心臓血管外科においてもコロナ禍で手術症例数が減少している。このことにより、心臓血管外科専門医の認定修練施設の基準を満たさず、施設の認定を更新できなかったとのことである。循環器内科、心臓血管外科については、富士保健医療圏の最重要課題とされている救急医療の中心を担う診療科であるため、専門医の更新ができる仕組みを確実に整えて、少しでも630問題が改善するよう努めてほしい。

以上の要望の後、全会一致で認定されました。

9月定例会 常任委員会の審査等

総務市民委員会

【委員長】 山下いづみ 【副委員長】 望月 徹
【委員】 稲葉寿利、高橋正典、一条義浩、植松光徳、藤田哲哉、福永意人

●市民にとって利用しやすい市庁舎への

レイアウト変更は

問 市民にとって利用しやすい市庁舎とするために、2年をかけて庁舎レイアウトを変更するとのことですが、どのような形を想定しているのですか。

答 市民課や福祉部各課など、窓口での手続きが多くある課を低層階にまとめるとともに、同一部内の課はなるべく同じフロアに配置し、教育委員会とこども未来部など、関連する部署は近接して配置したいと考えています。

産業教育委員会

【委員長】 井出晴美 【副委員長】 吉川隆之
【委員】 川窪吉男、下田良秀、遠藤盛正、伊東美加、佐藤菊乃、小池義治

●勤労者総合福祉センターの利用者に

代替施設の案内を

問 勤労者総合福祉センターの廃止に当たり、国から所管する施設の移転用地として購入の意向が示されたため、現在、売却する方向で引渡し条件やスケジュールについて、国と協議を進めているとのことですが、新しく設置される施設はどのようなものですか。

答 現在、国の窓口である静岡労働局と協議を行っています。どのような施設を移転するかなどの詳細な内容までは把握していません。今後、

●口座振替による市税納付の周知を

要望 市税コンビニエンスストア収納業務は、人件費や運用コスト等の上昇を受け、次年度以降の限度額を1462万円余増額するとのことですが、市が負担する1件当たりの手数料は、コンビニ収納に比べて口座振替の方が大幅に安い中で、令和3年度から令和4年度にかけては口座振替件数の割合が0.9ポイントほど減少し、コンビニ納付は同程度増加しているとのことなので、納め忘れがないなどの口座振替のメリットを周知し、件数が増加するよう努めてください。

国の方針やスケジュールが明らかになった際には、報告したいと考えています。

要望 これまでは勤労者総合福祉センターの廃止が決定していないことから、利用者に対する周知は行っていないとのことですが、代わりとなる施設や教室が見つからないとの声も聞くので、活動の場に困ることがないように、市の施設だけではなく民間施設も含めて案内をしてください。



▲廃止されるラ・ホール富士

建設消防委員会

【委員長】 太田康彦 【副委員長】 鈴木幸司
【委員】 望月 昇、萩田丈仁、杉山 諭、関 明美、笹川朝子、小野泰正

●増川排水路支川改修事業の一刻も早い完成を

問 江尾江川流域治水対策事業費を1950万円増額し、令和6年度に計画していた（仮称）増川排水路支川改修事業及び江尾江川流域における流木対策事業等を前倒しで実施するとのことですが、事業実施による効果をどのように考えていますか。また、増川排水路支川改修事業は完成までの程度の期間を見込んでいますか。

答 この改修事業の効果として、浸水被害の軽減や被災後の復旧時間の短縮などが期待できると考えています。また、増川排水路支川の工事区間は約600メートルと長いため、来年度の工事開始から10年程度の工期を見込んでおり、それまでの間はしゅんせつなど適切な維持管理を行い、流下能力の向上に努めていきたいと考えています。

要望 災害級の豪雨がいつ発生してもおかしくない状況なので、国、県、市が連携し、一刻も早く完成させてください。

福祉保健委員会

【委員長】 佐野智昭 【副委員長】 長谷川祐司
【委員】 小池智明、新家大輔、石川浩司、萩野基行、笠井 浩、市川真未

●子供の安全を第一に考えた早急の対応を

問 昨年12月に富士川第二小学校から富士川第二中学校に移転した松野児童クラブの床修繕を行うとのことですが、昨年度改修したばかりの施設にもかかわらず、修繕が発生したのはどのような理由からですか。

答 昨年度の改修に当たり、施設保全課と様々な工法を検討した結果、コスト面での優位性から土台と床材を接着剤により固定する方式を選択しましたが、施工後、下地材の収縮が激しく、床が波打つようになり、児童が転倒するおそれがあるため、今回修繕を行うものです。

要望 コスト面での検討を否定するものではありませんが、既に児童が何人も転んでいて聞いていますので、子供の安全を第一に考え、早急に対応してください。

●新型コロナワクチン接種の副反応による死亡例や国の救済制度の周知を

要望 新型コロナウイルスワクチン接種事業費を8154万円増額し、そのうち4477万円余を予防接種健康被害補償金として、国の救済制度によりワクチン接種が要因で健康被害を受けたと認定された2名に支給しますが、うち1名は亡くなっているとのこと。本市においてこのような事例があったことは市民に知られていないと考えるので、ワクチンの副反応を否定できない死亡例があることをしっかりと周知するとともに、国の救済制度の紹介についても現在の市ウェブサイトやワクチン接種時の案内の内容では不十分と考えるので、充実を図ってください。



福祉保健委員会の所管事務調査 中間報告

放課後児童クラブにおける一括運営業務委託の状況について、9月29日の委員会で調査を行いました。

●一括運営への移行を延長する条件は

問 令和7年4月から2者制による一括運営とし、市が延長の必要性を認めた児童クラブに限り、令和9年度までの3年間を限度として、一括運営への移行を延長できるとのことです。市が延長の必要性を認めるのはどのような場合ですか。

答 放課後児童クラブ運営基本方針に基づき、令和7年度からの一括運営移行が原則と考えていますが、一括運営への移行に対して保護者の理解が得られない場合や、移行に向けてさらなる準備や検討が必要な場合などについては、運営委員会との協議により、延長の可否を判断していきます。

えている地区もあるようなので、支援員だけでなく、地域や保護者の総意として移行の判断ができるのであれば、令和7年度の契約更新時までにはブロック間の移動ができるよう選択肢を残すべきである。

・現状では、委託法人の運営方針に納得できない支援員は退職する以外の道がなく、今回のような大量退職につながる懸念が懸念される。これは、支援員のみならず子供たちにとっても好ましくないと考えられるので、いつでもブロック間の移動を可能とするルールをつくるべきである。

等の意見が委員から出され、全委員の合意により、下記の要望を付すことになりました。

現委託法人が運営するブロックの児童クラブにおいて、一括運営に移行する令和7年度までは、地域や保護者会などが移行を決定した場合など、あらかじめ設定した条件を満たしたクラブについては、新たに契約する委託法人が運営するブロックへの移行も可能となるよう制度設計の見直しを求めます。

令和7年度までの一括運営移行について、

・各児童クラブや委託法人が今後も安定した運営を続けるためには、ブロック間の移動はできないほうがよいと考えるが、令和7年度の一括運営への移行を機に、現委託法人のブロックから移動したいと考

特集

9月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ

特集

9月定例会

常任委員会の審査

一般質問一覧

特別委員会の中間報告等

議会広報委員のページ



議会中継、
会議録検索は
こちらから

一般質問とは、市が執り行う行政事務全般について、議員が質問を行うもので、本定例会では25人の議員が登壇しました。ここでは発言順に質問項目のみを掲載していますので、詳細は富士市ウェブサイト上の本会議の議会中継（録画放送）や2月末頃に発行予定の会議録を御覧ください。会議録は富士市議会ウェブサイトのほか、図書館でも御覧になれます。

Table with 3 columns: Name, Surname, and Question/Answer content. Includes members like 遠藤 盛正, 新家 大輔, 植松 光徳, etc.

新病院建設特別委員会

8月21日に新病院建設についてを議題として開催しました。

●新病院建設の立地エリアの条件は

新病院の建設地として求める立地エリアについては、敷地面積3万平方メートル以上、現病院から3キロメートル以内という条件で抽出することですが、現病院に隣接する土地も候補地となりますか。

富士保健医療圏の病院配置や人口分布を分析したところ、現病院の立地は地域の基幹病院としておおむねふさわしいと考えられるため、現病院敷地や隣接地も含め、3キロメートル以内の土地は全て選択肢として検討します。

●新病院の建設期間の短縮を

先日、当特別委員会で視察した中東遠総合医療センターでは、基本計画策定から4年で開院したそうですが、本市では令和6年度から建設

に取りかかることができたとしても7年程度の期間が必要とのことです。今後、高騰する人件費や資材価格が下がることは考えにくいので、財政負担を軽減するためには少しでも早く建設に着手できるよう前倒していくべきと考えますが、基本構想策定から建設工事に至る流れの中で、どの部分をどれくらい短縮できますか。

7年程度必要というのは市直営方式の場合であり、基本構想に1年、基本計画から実施設計までに3年、建設工事に3年かかるという想定です。仮に、設計施工一括方式で実施した場合は、基本計画から実施設計までの3年をかなり短縮でき、さらに工期も短縮できることから6年弱程度まで短縮できると考えています。

ユニバーサル就労推進特別委員会

8月31日にユニバーサル就労の推進についてを議題として開催しました。

●ユニバーサル就労推進事業への

協力企業のさらなる開拓を

多様な働きづらさの要因に沿って、職場見学や就労体験、自分に合った仕事を見つけるキャリアコンサルタントなど、様々な支援を行っているようですが、個々に寄り添ったオーダーメイドの取組をしていくためには、幅広い職種がそろっていることも重要と考えますので、協力企業の開拓にも努めてください。

●ユニバーサル就労に前向きな企業への優遇措置は

障害者雇用等を行っている工場等の誘致活動では、企業立地促進奨励金制度の雇用奨

励金における障害者を雇用した場合のインセンティブの紹介を行っているとのことですが、過去2年で利用実績はゼロ件でした。対象を雇用奨励金に限定せず、ユニバーサル就労に前向きな企業に対する優遇措置は考えられませんか。

雇用奨励金の対象者としてユニバーサル就労を定義づけることは困難ですが、富士山フロント工業団地第2期の公募審査の際、選考基準の貢献性において、障害者雇用やユニバーサル就労に意欲のある企業は評価します。また、企業側がユニバーサル就労について独自の提案をした場合は、その内容に応じて支援が可能か検討していきます。

政策討論会の報告

8月7日に市民サービスコーナーの存廃についてを議題として、政策討論会を開催しました。

政策討論会は、富士市議会基本条例第13条第1項の規定に基づき、「市政に関する重要な政策及び課題に対して、議会としての共通認識の醸成を図り、合意形成を得る」ことを目的に開催するものです。

今回、マイナンバーカードの普及率が7割以上であることやコンビニ交付件数が大幅に増加していること等から、市民サービスコーナーの存廃について、今後の方向性を提言できるよう開催しました。

サービスコーナーについては廃止に向けた意見が多かったものの、段階的に廃止、あるいは存続すべ

きという意見もあり、今討論会においては統一した結論には至りませんでした。

8月25日に市長に結果を報告し、市民サービスコーナーの存廃については、今後、より踏み込んだ議論が必要であると考えられるため、市民ニーズを把握できる調査の実施、サービスコーナーにおける申請者の実態を把握することを要望しました。



浮島ヶ原自然公園周辺

浮島ヶ原が歴史に登場するのは源平の戦いです。先に上洛した木曾義仲を追いかけて源義経が馬そろえ（軍事行進）した場所と言われています。その後、源頼朝が富士の巻狩りを行った際の逸話にも浮島という地名が見られます。

また、「信長公記」には織田信長は富士遊覧をした後、浮島ヶ原でしばらく乗馬を楽しんだと記されています。

さらに、江戸時代の浮世絵師、葛飾北斎は「富嶽三十六景」のうち「駿州大野



新田」で、牛の背いっぱい葦の束を乗せ、家路をたどる農夫の向こうに、2つの浮島が浮かぶ大きな沼越しの富士山を描いています。

源頼朝、織田信長、葛飾北斎の心に映った富士山と浮島ヶ原に思いを巡らせつつの散策はいかがですか。現在では、浮島ヶ原を新幹線が走行しています。

議会にひと言

今回は、田子の浦港周辺地域の活性化を目指す「田子の浦港区女子」の鈴木加奈子さんにお聞きしました。（インタビューア：川窪吉男）



現在、田子の浦港漁協食堂の来客数は、1日1000人にも上ります。また、今年度は港の南東にある漁網倉庫の移転が決定したため、私たちの団体は富士山の眺めがすばらしいこの場所の有効活用を女性ならではの視点で考えており、港周辺を1日観光が楽しめる地域にすることを目標に活動しています。

私たちの考える田子の浦港周辺地域とは、漁協周辺だけではなく、富士塚などの観光資源のある鈴川地区も含めており、海を囲むエリア全体が観光地となれば素晴らしいと思っています。富士市議会としても魅力あふれる田子浦地区、元吉原地区の活性化に尽力していただきたいと思います。

（担当：福永意人）

議会 Q&A



Vol.2



Q.委員会では何をしているの？

A. 本会議では、全ての議員が集まり、多くの議案を審議して議会の意思決定をします。しかし、富士市の



仕事は幅広く、全員で話し合うには時間がかかるので、少人数からなる「委員会」を設けています。委員会では、議案に対して自由に質問や意見を出し、より詳しい議論ができます。富士市議会には、現在6つの常任委員会（総務市民委員会、福祉保健委員会、産業教育委員会、建設消防委員会、一般・特別会計決算委員会、企業会計決算委員会）と、2つの特別委員会（ユニバーサル就労推進特別委員会、新病院建設特別委員会）があります。委員会の様子も本会議と同様に生中継されています。ぜひご視聴ください。（担当：福永意人）

編集後記

今回の特集では、令和4年度決算議会事業評価として、一般・特別会計及び企業会計から選定した5事業について紹介しました。実績の評価や今後の方向性等を議会で話し合い、取りまとめた評価を踏まえ、翌年度予算に反映するよう市長に結果を提出しました。

また、4ページにて紹介していますが、これまで本会議のみだった映像配信を、今定例会から委員会等についても配信するようになりました。本会議とはまた違った議論の様子をぜひ御覧ください。（石川浩司）

次回定例会予告

11月定例会は、11月24日から12月11日まで開催される予定です。



発行

富士市議会

編集

議会広報委員会

静岡県富士市永田町1丁目100番地
☎0545(55)2878(直通)

ウェブサイト

富士市議会 検索